

安全とおいしくづくり水道水

6月1日から7日は水道週間です

あなたは、普段何気なく飲んでいる水の安全性について考えたことがありますか。また、この水がいつまでもあるものと思っていませんか。地球の水のおよそ97・5%は海水で、私たちが利用できる水は、0.8%にすぎません。水も限られた資源なのです。そして、その水を私たちが安全で、安心して使えるようにしている施設が水道なのです。

水道水を市民の皆さんに供給するためには、水源地である山の緑を回復させることも必要です。夏になると水不足に悩む蒲郡市では、水の大切さを知るための学習会や水源地の方たちと交流を行っています。今一度、水の大切さや水道水の使い方を見つめ直し、節水に心がけましょう。

安全で安心な水の確保

☆水質の管理

日ごろから蛇口から出る水の色、濁り、臭い、味などに異状がないか注意しましょう。万一、異状があれば必要な水質検査を行います。

市では、毎年大塚町大門地内、竹島町地内、西浦町大山地内で水道法に基づく検査を保健所に委託して実施しています。詳しい結果については、ホームページをご覧ください。

(<http://www.city.gamagori.aichi.jp/jogesui/skanri/suishitsu.html>)

☆貯水槽の清掃と点検

受水槽や高架水槽の貯水槽水道の場合は、1年に1回の定期的な清掃と設備の点検をしましょう。水の汚染を防ぐことができます。

水道水をおいしく飲む方法

水道水でよく指摘される「カルキ臭」は、消毒に使われている塩素によるものです。だから、この臭いは安全のあかしともいえます。しかし、カルキ臭がすると水はおいしくありません。

そこで、次の方法をお試しください。きつと、おいしく飲めるはずです。

- ① 水道水を密封できる容器（ペットボトルなど）に入れて、冷蔵庫で冷やす。
 - ② 水道水1リットルあたり、2〜3滴の緑茶を入れる。
- ※保存には向きませんので、作ったその日に使い切りましょう。

湯水に強いまちづくり

☆助成制度

飲み水以外の水の使用では、水道水に依存しなくても良い場合があります。そんなときには、雨水や井戸水を利用しましょう。市には、助成金の制度があります。

雨水利用簡易貯留槽購入助成金

1基につき1万4千円まで

井戸掘り事業助成金

1基につき6万5千円まで

※どちらも施工前にお問い合わせください。

